

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

245号

★ 2022年3月31日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ ついに都内に氷塊が落下！ もみ消しに必死の国交省

渋谷区のテニスコートに3月13日15時30分ごろ、ドスンという音と共に大きな塊1個と小さい塊が3個落ちていたそうです。アトランタ発羽田行きデルタ航空が960m上空を通過しているので、恐らくその機から落下したのではないかと見られます。丁度上空で脚出し（着陸準備ため車輪を格納場所から出すこと）をしたのではないのでしょうか。単なる機体の揺れでも高度下で出来た氷が落下することはあるでしょう。杉江元機長が予測した通りになりました。

発見したのはなんと自民党議員の後援会長だったそうで、疑いもない証拠写真もあるのですが、国交省の反応は、というと

・一日以上経過しての機体調査なのに「異常が認められない」

・風力や実際の航路から1km近い誤差があるのに「航路から350m離れている」
などと事実を認めたくないのがありありの苦しい説明です。

○ 氷塊落下を東京FMが取材

4月2日（土）あさ6時～7時放送予定です。

通報、写真撮影された方も登場します。

○ 国交省前で毎週抗議

渋谷区のSさんの呼びかけで、国交省前で毎週羽田問題で抗議の集会が行われていました。コロナの関係で中断していましたが、再開すべし、との声が寄せられたそうで、国交省前活動が再開されます。

4月4日から毎週月曜日11時30分～12時30分
祭日、雨天は休み。（5月2日は休み）

○ 常盤台の花めぐり

早春を告げる沈丁花の香りがどこからともなくただよいます。常盤台を散歩していると、梅・桃・桜・木蓮と、様々な花が開花していくのを楽しむことができます。

もちろん公園や並木のような公有地の他に、人様のお宅の花を垣根越しに拝見するのですが…道から見える部分は、半共有という意識が昔から住宅地にはあったと思います。

玉川学園だったと思いますが、街の規定に外から庭が見られるように、高い塀で囲わないよと言う条文があったのが印象的でした。これは街全体を庭園のようにしたいという、環境や景観を考えての先人の配慮だったのでしょうか。

残念ながら防犯などの問題から理想は後退し、常盤台でも実際は2mを越す高い塀が多くなりましたが。（ちなみに高いコンクリート塀は、一旦入り込むと錠を壊すのに人目を憚る事が無いので泥棒の被害が多いそうです）

そもそも庭や塀越しに四季折々の花を植えるのは、楽しみを他人にも分かち合い、街全体の環境を高めようという住民の意識に他ならないと思います。この街の良さを認識してもらう為に、この春から初夏にかけての常盤台の花を撮影して展示会を開いてみたいと思います。お楽しみに！

○ 桜の大枝落下

常盤台公園の桜の枝が落下、区の下請け職員が処理していました。ベンチにいた人達が枝を分けて貰っているのを見て、急いで駆けつけ、コロナでお花見もできないでいる施設の人達に見せたいので、と頼むと快く程よい枝をくれました。丁度見頃の綺麗な桜です。近くの富士見町の老人ホームに届けると喜んで受け取ってくれました。

鳥の事情

公園もカラスの数がすいぶん減りました。代わって増えて来たように感じるのはオナガです。朝、群れを成して公園の木に留まりに来ます。声は美しくありませんが、尾羽が教科書に出てくる始祖鳥のようで、白とブルーのきれいな鳥です。

彼らが留まるのは、葉の落ちたサクラやケヤキではなく、こんもりと茂った常緑樹のスタジイです。枝葉の中に飛び込むようにして姿を隠します。スズメやメジロも見晴らしの良い木にはあまりいないようです。

梅・桃・桜と順番に花が開いてくるので、ヒヨドリやメジロにミカンをプレゼントしないで良くなりました。冬の厳しい時だけに餌付けするのは許されるようです。

石神井川のカワセミも元気に流れに飛び込んでいました。オスは少し下流の釣り堀に小魚を捕りに行っているとか。求愛給餌が始まって営巣し、雛を育てていくでしょう。

カルガモは留鳥なので、石神井川にも平和公園の浅い池にも普通に見られます。6月ごろ可愛い雛を連れてお引越りする姿が話題になる鳥です。住宅難だったのか、駅前ロータリーの噴水池を物色したカモがいました。

スズメ・カラス・キジバト・ハクセキレイ・ジョウビタキ・ツグミ・ムクドリ・シジュウカラ……と結構常盤台で見られる鳥は多いのですが、ウグイスの声を今年も聞いていないように思います。どなたかお聞きになりましたか？

しゅれ街協議会からのお願い

前回しゅれ街協議会の活動を書かせて頂きましたが、重ねてお願いしたい事に土地の細分化阻止の問題があります。

分譲時から住まわれ、二代目三代目と受け継がれて行く中、財産分与・相続税等で土地の分割が進んでいます。業者に土地を売却される前に、是非協議会への参加をお願いしたいと思います。

今まで住まわれて来た常盤台への思いを、環境や景観を損なわない方向に向けて頂きたいと望んでいます。

(又、協議会運営に参加する方を募集しております。興味のある方は、しゅれ街協議会事務局 03-3558-2849にご連絡ください。)

Y・N

ウクライナ侵攻から学ぶこと

連日ロシアのウクライナ侵攻のニュースに耳目を奪われます。戦争体験者は少なくなってきたようですが、戦争だけはしてはならないという意識は日本人に植え付けられていると思えます。外からこの侵攻を見ると、過去の反省と共に、学ばねばならない事が多くあります。

* 国家権力が暴走する時は、先ず国内の言論の自由を奪う * 情報組織を支配し、プロパガンダを流す * 少しでも反対する者は個人も組織も徹底的に弾圧する * 戦争開始の口実は幾らでも作り出せる などなど。

ロシア軍の印の「Z」はナチスの「卍」と同列の意味で歴史に残ることでしょう。

常盤台公園のはなづくり

公園ではビオラの間からチューリップの芽が勢いよく伸びています。相変わらずネコのトイレに対する欲求は強く、Tさんの苦心の網など簡単に飛び越えて土を掘り返しています。

クリスマスローズの角の花壇でも足を止めて写真を撮っている人を見かけます。うつむきに咲く花ですが、群落を作ると見応えがあります。

ハナニラが所構わず白い花を咲かせます。可愛いのですが繁殖力が強く、芝生の中でも勢力を伸ばしていくので要注意です。プロムナードのツツジの下に群生している所がありますが、近所の人が植えたのでしよう。毎年咲いてきれいです。

先日、新宿御苑を散策してきました。予約制のようで、予約無しで行くと、その場でスマホで手続きを求められます。スマホに慣れない中高年の人達が悪戦苦闘し、係の人達も手伝うのに汗をかいていました。

桜の早咲き種はもう満開で、卒業式帰りの袴姿の若者達が、腰の辺りまでしだれて咲いている花と写真に収まっています。足下に薄紫のハナニラの群落が広がり、珍しいハチジョウウキブシの長い穂が風に揺れています。この庭のような規模の自然が身近にあったら、と、無い物ねだりの気持ちになってしまいました。

